



2026年 2 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社テクノマセマティカル
代表者名 代表取締役社長 田中 正文
(コード番号 3787 東証スタンダード)
問合せ先 取締役副社長 出口 真規子
(TEL. 03-3492-3633)

2026年 3 月期通期業績予想の修正および
営業外収益（為替差益）の計上に関するお知らせ

決算集計状況を踏まえ、2025年 5 月 14 日に公表いたしました2026年 3 月期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせします。

また、2026年 3 月期第 3 四半期において、営業外収益（為替差益）を計上いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

2026年 3 月期（2025年 4 月 1 日～2026年 3 月 31 日）

(単位：百万円、円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	710	8	4	1	0.39
今回修正予想 (B)	710	55	75	60	23.14
増 減 高 (B - A)	—	47	71	59	—
増 減 率 (%)	—	587.5	—	—	—
(ご参考) 前 期 実 績 (2025年3月期)	416	△286	△282	△285	△109.91

2. 修正の理由

売上高につきましては、ソリューション事業はほぼ計画通りが見込まれ、ライセンス事業ではハードウェア部門は計画値を下回るものの、ソフトウェア部門で第 3 四半期において計画外かつ大型の案件が獲得できたことから計画値の変更は行いません。一方、利益面は、前述の大型ソフトウェア案件の利益率が高く利益貢献度が大きいことやロイヤルティ収入も計画値以上の推移が見込まれる上、役員報酬削減などの経費圧縮策効果もあり、計画値比大幅拡大が見込まれます。なお、部門別の期初売上計画達成率見込みは次のとおりです。ソフトウェア部門 141.1%、ハードウェア部門 72.9%、ソリューション事業 102.5%。

3. 営業外収益（為替差益）の計上

当社は、為替相場の円安進行により、2026 年 3 月期第 3 四半期（2025 年 10 月 1 日～2025 年 12 月 31 日）において、7 百万円の為替差益を計上いたしました。

この結果、2026 年 3 月期第 3 四半期累計期間（2025 年 4 月 1 日～2025 年 12 月 31 日）においては、この為替差益と第 2 四半期累計期間（2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日）において計上済みの為替差損（0 百万円）の相殺の結果として、為替差益 7 百万円を営業外収益に計上いたしました。なお、上記の金額は、当社が保有する外貨建資産等の決済及び期末換算レートによる評価替により発生したものであります。

以 上

（注）上記の見通しは、本資料作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後様々な要因によって記載内容と異なる可能性がありますので、当公表の内容に全面的に依拠して投資等の判断を行うことはお控えいただきますようお願い申し上げます。